

ヴィゴレーノ (Vigoleno)

先週に引き続き、「最も美しい村」と「小さな街・村」の両方で推薦され、ピアチェンツァとパルマ地域の「Castelli del Ducato」でも推薦されている観光地に行きました。ヴィゴレーノはカステラルクゥアートから10数キロの位置にあります。フィオレンツォーラからではちょっと遠くなり、一番近いTreinitaliaの駅は、温泉で有名なサルソマッジョーレとなります。サルソマッジョーレから約10キロの距離ですが、例によって、路線バスが非常に限られています。土曜日でも朝の早い時間以外は11時半に1本あるだけです。今回は、午後から雨が降るとの天気予報だったので、そのバスでは雨になってしまう恐れがあり、先週のようにサルソマッジョーレからタクシーを使いました。ヴィゴレーノはピアチェンツァ県の一番東端にありサルソマッジョーレは隣のパルマ県となります。

ヴィゴレーノはカステラルクゥアートの4分の1くらいの本当に小さな、小さな村です。そのヴィゴレーノが何故上記の3つの団体から推薦されたのかは、この村について直ぐにわかりました。丘の上の小さな村は完全に城壁で囲まれていて中世の姿そのままなのです。こんなに完璧に残されている村はイタリアでも珍しいと思います。一つしかない城壁の入口から中に入ると、全く21世紀の面影はありません。城壁の中には、お城があり、教会があり、広場があり、そして民家があります。完全に独立した一つの中世の村になっているのです。お見事と言うしかありません。パールとレストランは数件ありましたが、お店は何もなく、今でも住んでいる住民の人たちにはとても不便だと思いますが、そこはイタリアです。便利な21世紀の世界にするつもりは全くないようです。



ヴィゴレーノは8,9世紀に、この村の教区教会であるサン・ジョルジョ教会を中心に出来た村で、13世紀までは、カステラルクゥアート、ピアチェンツァ、ヴィスコンティ家等に支配されていましたが、14世紀にヴィスコンティ家からピアチェンツァのスコッティ家に割譲されてから、スコッティ家の支配が20世紀までどこからも侵略されることなく安定して続き、その結果、14世紀の姿そのままに現在に至ったのだそうです。城と城壁は最初10世紀に建てられたのですが、時代と共に変化する防衛体制に適応させるため何度か改造され、現在の城と城壁は14世紀に建てられたものです。城壁の中に入ると直ぐに城の正面の広場があり、そこには噴水があります。この広場の地下は貯水槽になっていて村の人たちの飲み水を確保していたそうです。噴水はその貯水槽の水を使っています。この広場にBeata Vergine delle Grazieと呼ばれる17世紀初めに建てられた礼拝堂があります。もともとこの礼拝堂は城の礼拝堂だったようです。城の中も公開されていますが、土曜日は午後からオープンとのことで今回は入ることが出来ませんでした。



その広場の先に、サン・ジョルジョ教会があります。この教会は12世紀中旬に建てられたと言われています。シンプルなロマネスク建築で、この村にピッタリです。ロマネスク建築なので窓も少なく内部は暗いのですが、ちょうどこの日はお葬式があったために、教会内は明かりをつけずに更に暗くしてありました。祭壇の後ろのサン・ジョルジョのドラゴン退治のフレスコ画が見事なのですが、残念ながらうまく写すことが出来ませんでした。



この村も丘の上にあるので、周りの景色がとってもきれいです。サルツマッジョーレからヴィゴレーノまではのどかな丘陵地帯が続いています。ヴィゴレーノに来る道のりには他にも丘の上にあるお城が見えていました。先週まであった雪もなくなり緑が映えて快適なドライブでした。この日は、残念

ながら曇っていたのですが、晴れていて、あと1月もたつと、輝くようにきれいな新緑になると思っています。こんなところに住んでいると時が経つのも忘れてしまうのではないのでしょうか。ここに時代に取り残された村があるのもうなずけます。



本当に小さな村ですので、城壁の中を丁寧に歩いて1時間も要らないくらいです。村の端から端まで数十メートルしかありません。村は城壁の中を歩き回って見るだけでなく、遠くから見ても素晴らしいので、城壁の外を歩いて景観の良いところを探しても良いと思います。但し、城壁の周りには今でも、ほとんど何もありません。また、ヴィゴレーノはワインが有名だそうで、選りすぐりの葡萄でワインを作り少なくとも5年は寝かせるそうです。今度、探して買ってみたいと思います。



今日は、午後から雨の予報だったので、朝早く起きて出発しました。ロゴレド発6時59分の列車に乗り、フィデンツァ経由サルソマッジョーレ(7.9ユーロ)に着いたのは8時45分です。サルソマッジョーレの街を30分ほど散策して、駅前のタクシーに乗りヴィゴレーノに行きました。サルソマッジョーレからヴィゴレーノまではタクシーなら20分ほどで、ヴィゴレーノには9時半に着きました。帰りは路線バスに乗ろうと思っていたのですが、本数が少なく午後2時45分までバスがないとのこと。仕方なく、ちゃんと電話番号を聞いておいたので、朝のタクシーの運ちゃんに電話して迎えに来てもらいました。料金は、行きも帰りも24ユーロです。ということは、迎えに来るまでの料金は取られなかったみたいです。この運ちゃんは、英語は出来ませんが、とても親切で気持ちの良い田舎のおじいちゃんでした。